

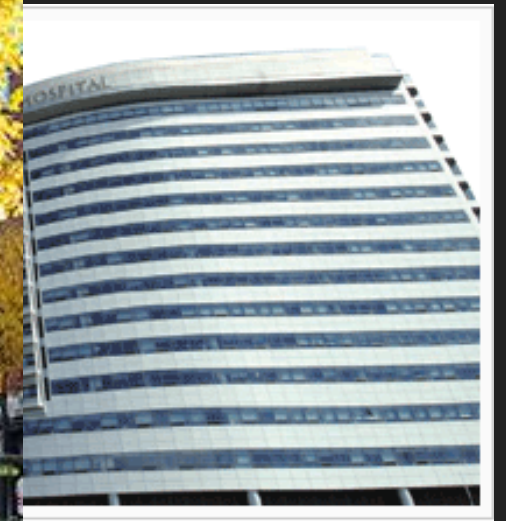
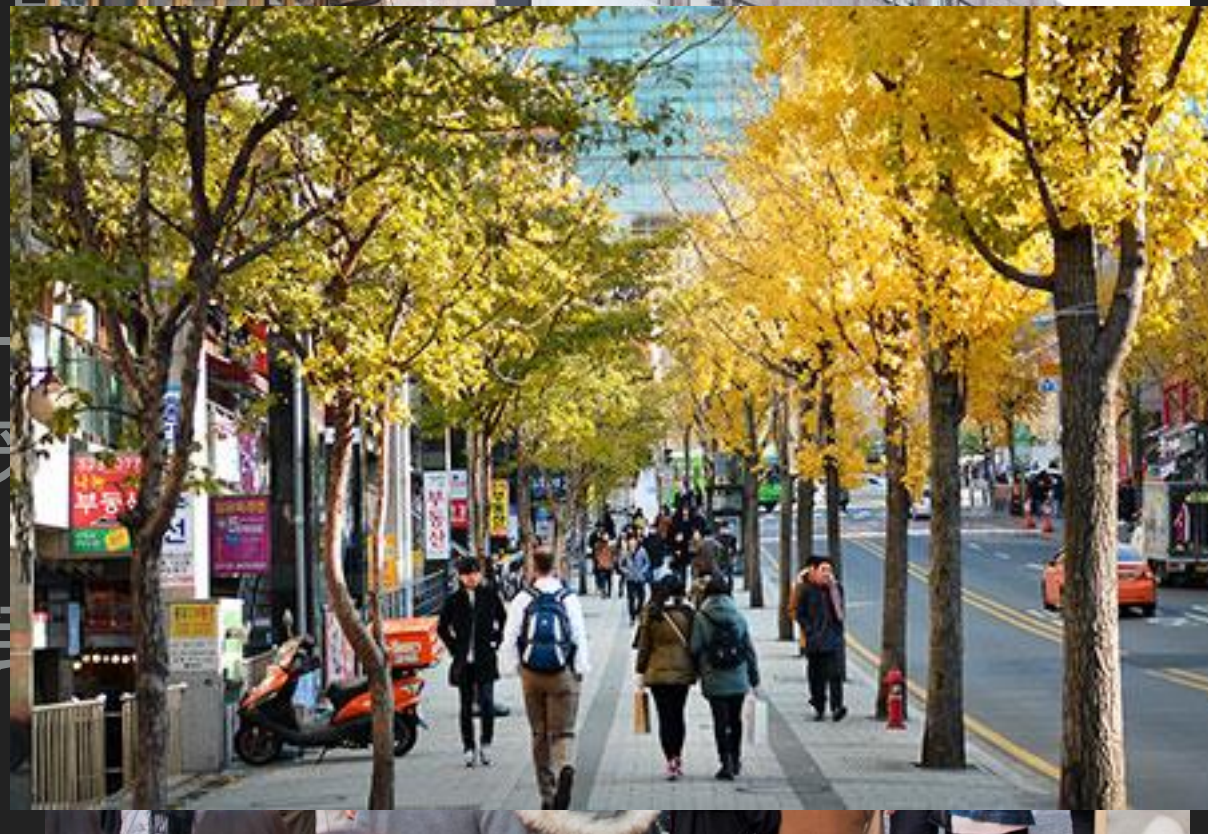
朴 聖一

---

海外臨床研修報告会  
“韓国延世セブランス病院”

# 延世セブランス病院

- ▶ 韓国第一、二を争う名門大学である
- ▶ 病床数は約2000床。
- ▶ 関連施設（癌センター）  
人（2700人/日）、外来
- ▶ 立地がいい。（繁華街）



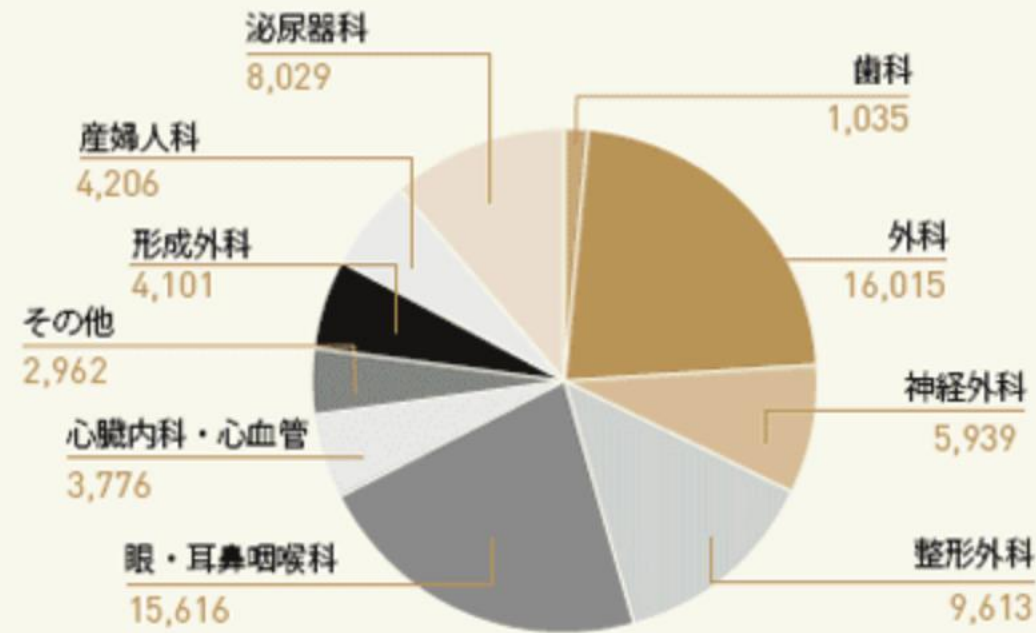
# 延世セブランス

- ▶ 年間手術件数 約8,000件
- ▶ 泌尿器科専用のオペレーターが10名
- ▶ ダヴィンチが8台導入されており、世界で腕利き
- ▶ 小児泌尿器チーム

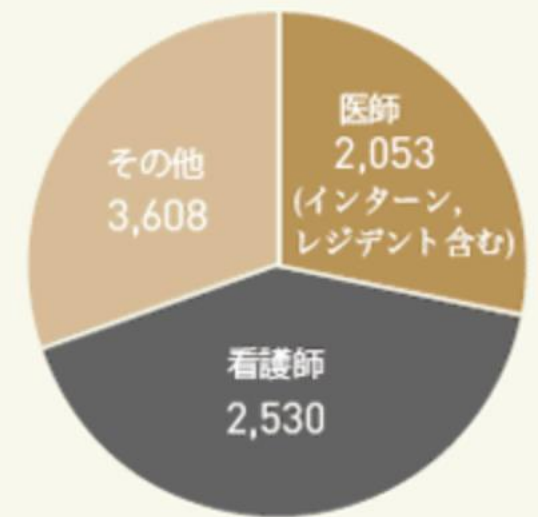
## 年間患者数(人)

● 入院診療患者 1,000,000(1日2,700)

● 外来診療患者 3,000,000(1日11,000)



年間手術数(件)-総71,292(2009.1~12)



人数(人)-総8,191(2010.2.1現在)

## セブランス生活（週間スケジュール）

- ▶ カンファレンス AM 7:30～（月、水）  
泌尿器科全体で集まって手術予定患者や死亡患者に対しての症例検討会を行う。カンファレンス自体は韓国語で行われるが、医学用語は基本的に英語を用いる。
- ▶ 回診 AM 7:00～（月、水）AM 7:30～（火、木、金）  
チームごとに毎朝回診を行う。
- ▶ 手術 AM9:00～（毎日）  
各チーム1日7件程度は行う。手術はほぼ全て教授が執刀している。



## セブランス生活

- ▶ 小児泌尿器、腫瘍、結石チームを1週間ずつ見学させていただいた。
- ▶ 小児泌尿器チームに関しては当院にないため新鮮であった。腎盂形成術、尿道形成術、精巣固定術、陰茎形成術など症例も様々であった。
- ▶ 腫瘍チームは腹腔鏡手術、ロボット手術がほとんどで腎摘、膀胱全摘、前立腺全摘など当院でみたような症例が多かった。
- ▶ 結石チームは腫瘍チーム同様に症例はTUMSのものが多かった。



## 研修を終えて

### ▶ 良い点

- ① 病院の規模が非常に大きいため、かなり多くの症例を体験することができる。
- ② 医学用語(病名、術式など)が基本的に英語であるために医学英語に対して苦手意識があまりなさそう。
- ③ 手術室関係者は食事無料の食堂が手術室の隣に備わっている。

## 研修を終えて

### ▶ 悪い点

- ①術者は手術開始から閉創まで基本的に教授であるために若手が手術するチャンスに恵まれない。
- ②自分のチームのオペ以外には参加しないので、専門以外の手術などは実力がからり落ちてしまう。



# その他

- ▶ 食事は美味しいものが多かった。





ご静聴ありがとうございました。